
I think that

ルエル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

I think that

【Nコード】

N35820

【作者名】

ルエル

【あらすじ】

貴女から見ればそうかもしれない。
でも、貴女は勘違いをしている。
大きな、大きな勘違いを。

貴女の世界

貴女は云った。

「自分の世界には偽りがある」と。

でも、私は思う。

「貴女の世界に偽りは無い」と。

だって、そうでしょう？

今、私たちの周りにある世界は全て現実で。

貴女の世界は、貴女が自分で手に入れた現実の世界。

そして。

彼は貴女が大好きで、

貴女は彼が大好き。

彼は貴女の大切な人で、

貴女は彼の大切な人。

それらも全て現実。

私たちの世界を創っている一つの定義。

定義が覆る事はない。

そんな事、ありえないのだから。

今の私に貴女を励ます事は出来ないから。

だからこれは、自分で自分に言い聞かせる言葉。

“ 現実を受け入れよう。少しずつでいい。背を向けていても何も変わらないのだから。向き合おうとしなければ、決して変わらないのだから。”

みんなの道

貴女は云った。

「自分だけが前に進めず、平気なフリをしている」と。

だから私は、貴女に伝えよう。

「そんなことは無い」と。

貴女はちゃんと歩んでいる。

貴女だけの道を。

私もちゃんと歩んでいる。私だけの道を。

あるのは、山道かアスファルトの道かの違いだけ。
一歩の大きさが違うだけ。

でも、元は一本の大きな道。
貴女の道も。彼の道も。私の道も。あの子の道も。
全部が集まって、大きな、大きな道になっていた。

何があっても壊れなかった道。
ずっと壊れないと思っていた。

その道に爆弾を仕掛けたのは私。

その爆弾を取り外す事は不可能。
気付いたときには爆発していて。
大きな道は小さな道になっていた。

最初は悲しんだ。
けど。

「だったら、今度は道を直そうよ」

設計図は持っている。

“思い出”という設計図を。
材料も持っている。

“絆”という材料を。

ならば、造ろう。

“友情”という大きな道を。
今度こそ、壊れないように。

貴女のペースと私のペース

貴女は云った。

「私が私のペースに戻りつつある」と。

じゃあ、私も云おう。

「貴女も元の貴女に見える」って。

あ、これも伝えよう。

「私たちのそれはきつと見かけの運動だ」と。

貴女が使っていたのは『陰暦』

ついこの前、『太陽暦』に変わったばかり。
使い慣れていなくて、

やっとわかるようになったばかり。

だから勘違いをしている。太陽の周りを365日で、一秒のズレも無く回ったと。

だからきつと気付かない。閏年の事を。

一日のズレがある事を。

貴女は知っているはずでしょ？

私が入前で泣けない事を。滅多に入前で泣かない事を。

それは私の閏年。

きつと貴女が気付かないもの。

多分、貴女にもある。

きつと私の気付かない、貴女の閏年が。

ペースが戻って見えるのは、見かけの運動。
本当は完全じゃない。

まだ、キツパリと割り切れていないから。
いつか支障を来すかもしれない。

そうなる前に、元に戻れると良いな。

ねえ、閏年を作ろうよ！

お互いさま(前書き)

ねえ。

どうせ、お互いさまなんだ。

だったら、「さっしゅ」もお互いさまね。

お互いさま

ねえ、貴方はいつまで泣いているの？
いつまで、後悔しているの？

それは、自分が向けられた言葉。
そして、貴方に向けた言葉でもある。

最近、確かに私も強く当たった。
でも、いつまで『それら』で悩むの？

悩んだって、結果はどうせ変わらない。
だって、お互いさまに行動して、お互いさまの結果になったんだから。

そうでしょう？

何だかんだ言っつて、お互いに《失った人》と《得たもの》がある。
それが、真実。今の私たちの世界^{してん}。

それに、言っただけでしょう？

『また、いつか。』

『また、“いつものメンバー”で。』って。

『私の大好きな人を、任せる』って。

その貴方が、そんなに悩んでてどうするの？

確かに、貴方は裏切った。

でも、今、貴方の周りにいるのは、そんな貴方を受け入れているはずでしょう？

貴方を、選んだ人のはずでしょう？

私は、貴方に彼を任せたことを後悔したくない。

貴方が、そんなだったら、私はどうしたらいいの？

悩んで、後悔して、苦しくなるようなら、初めからこんなことをしなければよかったです。

でも、そんなのもう全て、「過去」になってしまった。

貴方のした事も、私のした事も。

変える事は、できない。変わらない事を、悔やんでも仕方がないでしょう？

だったら、「今」をしっかり過ごそうよ。

ね？

お互いさま、なんだからさ。

お互いさま（後書き）

……はい、支離滅裂でごめんなさい。
深く、反省します。

でも、ちゃんと伝わってくれると、嬉しいですよ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3582o/>

I think that

2010年12月14日09時19分発行